



# 全国鳥類繁殖分布調査

日本の鳥の今を描こう

## 2016 - 2017



# 調査の目的

しばしば起きる大規模な災害、中山間地の過疎化や農林業の変化、そして気候変動。日本の自然は大きく変化しています。スズメの減少が話題になったように、自然の変化に伴い思いもかけない鳥が減ったり増えたりしています。そんな鳥たちの現状を明らかにし、対策を考えるために、2016年から2020年までの5年計画で鳥の国勢調査ともいえる「全国鳥類繁殖分布調査」を行なっています。

## 調査の体制

この調査は1970年代と1990年代に環境省が行なった調査です。今回はNGOが中心となり、環境省、大学、各地の観察団体とともに、実施していきます。

### 主催団体

バードリサーチ、日本野鳥の会、日本自然保護協会、日本鳥類標識協会、山階鳥類研究所、環境省生物多様性センター

### 共同実施団体

群馬県立自然史博物館、国立環境研究所、長野県環境保全研究所（自然環境部）、福井県自然保護センター、酪農学園大学

### 助成

サントリー世界愛鳥基金、自然保護助成基金

### 調査協力団体

日本野鳥の会秋田県支部、日本野鳥の会旭川支部、日本野鳥の会石川、日本野鳥の会茨城県、日本野鳥の会西表支部、日本野鳥の会愛媛、日本野鳥の会香川県支部、日本野鳥の会鹿児島、日本野鳥の会神奈川支部、日本野鳥の会北九州、日本野鳥の会岐阜、日本野鳥の会熊本県支部、日本野鳥の会埼玉、日本野鳥の会佐賀県支部、日本野鳥の会佐渡支部、日本野鳥の会札幌支部、日本野鳥の会滋賀、日本野鳥の会静岡支部、日本野鳥の会島根県支部、日本野鳥の会滝川支部、日本野鳥の会筑豊支部、日本野鳥の会千葉県、日本野鳥の会東京、日本野鳥の会遠江、日本野鳥の会栃木、日本野鳥の会鳥取県支部、日本野鳥の会苫小牧支部、日本野鳥の会富山、日本野鳥の会奈良支部、日本野鳥の会新潟県、日本野鳥の会ひょうご、日本野鳥の会広島県支部、日本野鳥の会福井県、日本野鳥の会福岡支部、日本野鳥の会富士山麓支部、日本野鳥の会三重、日本野鳥の会南富士支部、日本野鳥の会宮城県支部、日本野鳥の会宮崎県支部、日本野鳥の会山形県支部、日本野鳥の会山口県支部、日本野鳥の会和歌山県支部、油山市民の森自然観察センター、信州野鳥の会、八王子・日野カワセミ会、東三河野鳥同好会、(株)エコリス、東京環境工科専門学校、(株)地域環境計画、(公財) ホシザキグリーン財団、(株)緑生研究所

## 調査の実施状況

### 約半分の調査コースで調査を実施

2016年と2017年の調査には1,212人の方にご参加いただきました。そして、全国に設定された2,324コースのうち、約半数にあたる1,160コースの調査を実施することができました。

調査データの数はアンケート調査とあわせて75,377件、321種（外来鳥15種を含む）の鳥類が確認されました。

### 4分の1コースがまだ調査者未定

調査は進んできて、全コースの調査担当者が決まった都道府県も12ありますが、全国で588コースはまだ調査を担当する人が決まっています。決まっていないコースの数では北海道、岩手県、福島県が多く、割合では高知県や沖縄県が高くなっています。これらのコースを調査することが今後3年間の課題になっています。



黒：調査の終わったコース  
青：調査者の決まっているコース  
赤とオレンジ：調査責任者の決まっていないコース

### 解析ワーキンググループ

姉崎智子(群馬県立自然史博物館)、上野裕介(石川県立大学)、大澤剛士(農業環境技術研究所)、片山直樹(農業環境技術研究所)、高川晋一(日本自然保護協会)、直江将司(森林総合研究所)、深澤圭太(国立環境研究所)、藤田剛(東京大学)、三上修(北海道教育大学)、宮下直(東京大学)、森本元(山階鳥類研究所)、山浦悠一(森林総合研究所)



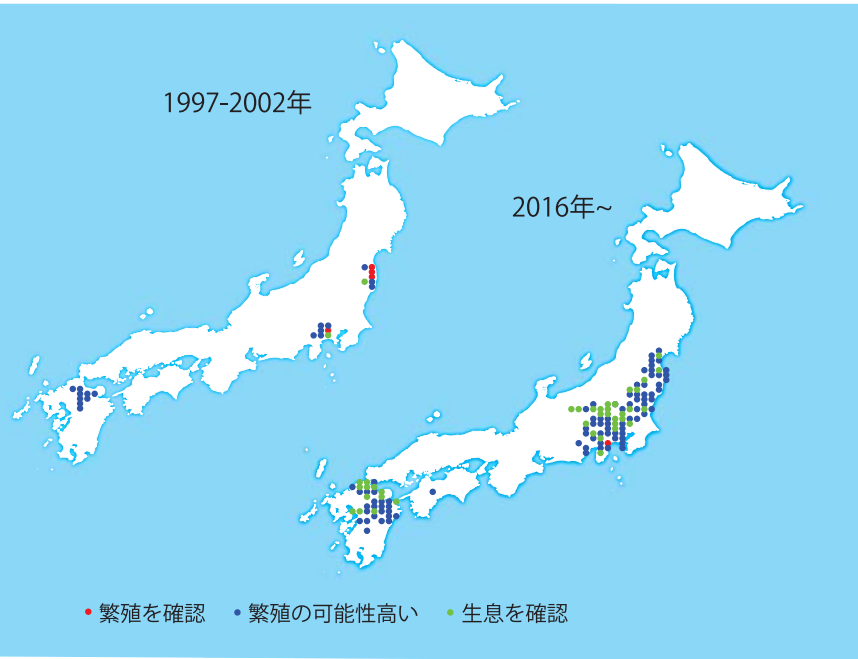




# わかってきた 日本の鳥の状況

## 分布が急激に拡大しているガビチョウ

まだ半分の調査が終わった段階ですが、それでも分布の変化が明確なものがあります。急速に分布を拡大している外来鳥などです。



ガビチョウ(池永祐二)

ガビチョウは1990年代の調査では、福島から太平洋側、関東から中部にかけての太平洋側、そして九州北部で局地的に記録されていました。それが今、そこから分布を拡げて福島と関東の分布は繋がり、九州北部でも分布が広がっていました。(その他の鳥の分布図は <http://www.bird-atlas.jp/result2.html> をご覧ください)

ガビチョウの1990年代から現在にかけての分布の変化

## 減少している鳥、増加している鳥

今回調査を行なうことのできたコースのうち、調査コースの変更が軽微で過去と比較可能なコースについて1990年代の結果と比べ、増減が顕著な鳥をみてみました。

減少が顕著な種は、小型の魚を食べる鳥、湿地や河原などへの依存の強い鳥といった共通点がありました。小型の魚が減っていたり、湿地や河原など環境が減ったり質が悪くなっている可能性が考えられます。しかし、同じく減少しているハシブトガラ、ビンズイ、アカハラの間には、主な共通点がなく、個別の要因がありそうです。今後も

減少種	記録コース数		減少率	増加種	記録コース数		増加率
	1997-2002	2016-17			1997-2002	2016-17	
1 ゴイサギ	79	39	-50.6	ガビチョウ	5	106	2020.0
2 ヤマセミ	38	20	-47.4	カワウ	17	101	494.1
3 ハシブトガラ	90	48	-46.7	ソウシチョウ	20	94	370.0
4 ビンズイ	63	35	-44.4	サンショウクイ	47	187	297.9
5 コヨシキリ	62	38	-38.7	ミサゴ	25	61	144.0
6 アカハラ	152	97	-36.2	ダイサギ	46	109	137.0
7 イソシギ	56	37	-33.9	クロジ	27	63	133.3
8 パン	36	24	-33.3	サンコウチョウ	91	209	129.7
9 セグロセキレイ	269	190	-29.4	アオバト	175	364	108.0
10 コサギ	58	42	-27.6	アオサギ	130	265	103.8

顕著な減少と増加が見られた種(50コース以上で記録された種を対象とした)

情報を収集し、その原因など考えていきたいと思います。増加が顕著な種は、外来鳥、大型の魚食性の鳥、森林性の鳥、夏鳥といった共通点がありました。森林は成熟して森林性の鳥にとって良い状況になっている可能性があります。夏鳥は1990年代には急激に減って絶滅が心配されていましたが、復活してきているようです。増加している夏鳥は森林性の鳥でもあるので、日本の生息環境が良くなったことも考えられますし、越冬地や中継地の環境も良くなりつつあるのかもしれません。



減っているアカハラ(大塚之穂)

## レッドリスト種の動向

レッドリストに選定されているような種は分布範囲が狭いため、まだ現段階では動向を評価できない種が多いのですが、シマアオジ、チゴモズ、アカモズといった種は、前回(1990年代)の調査で記録できた場所で今回は記録できておらず、減少が心配されます。

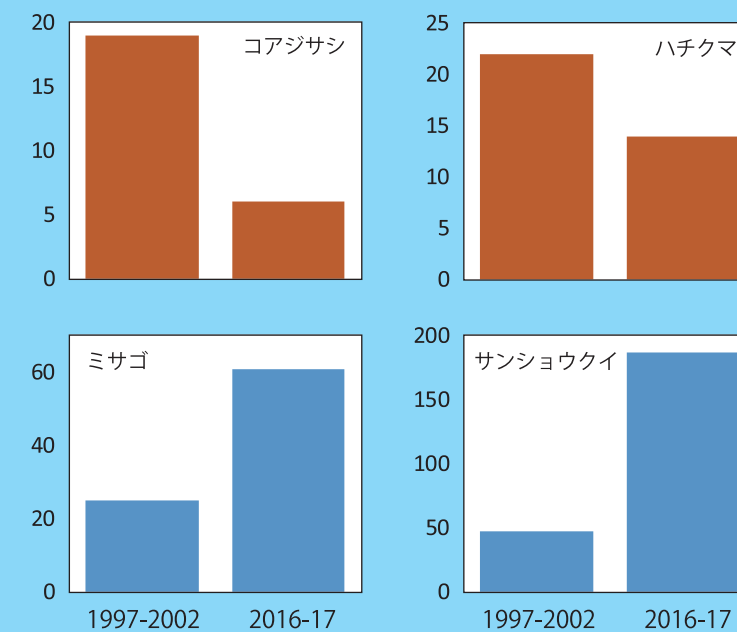
記録コース数がある程度多い種の中では、コアジサシの減少が顕著でした。今回の調査で小型の魚食性の鳥の減少が示されているので、コアジサシも同様に減少している可能性があり、またハチクマも記録されたコース数が減っているため、注意が必要です。



コアジサシ(野辺佳子)

一方、増加している種もいました。ミサゴとサンショウクイです。これらの鳥たちは絶滅の危険性が下がっていると言えるのかもしれませんので、今後どうなっていくか引き続き注意して見ていきたいです。さらに情報を集め、減少の顕著な鳥のレッドリストへの追加そして、絶滅の危険性が低くなった鳥についてはランクダウンを検討するなど、レッドリストの見直しへ貢献していきたいと思います。

### 記録されたコース数



減少していると思われるコアジサシとハチクマ。増加していると思われるミサゴとサンショウクイ

サンショウクイ(角紀男)







越冬するタシギ (矢田新平)

## 関連してスタートしたそのほかの調査

全国鳥類繁殖分布調査に関連して、全国鳥類越冬分布調査をはじめました。さらに茨城県と東京都では、詳細な調査を始めています。

- 全国鳥類越冬分布調査：<http://www.bird-atlas.jp/winter.html>
- 茨城県鳥類繁殖分布調査：<http://www.bird-atlas.jp/ibaraki.html>
- 東京都鳥類繁殖分布調査：<http://www.bird-atlas.jp/tokyo/>

### 全国鳥類越冬分布調査

温暖化による鳥たちの分布変化は、繁殖期よりも彼らにとって厳しい季節である冬にあらわれると思われます。そして、昨年カシラダカが IUCN のレッドリストに選定されたように、冬鳥にも減少が心配される鳥がいます。そこで、冬鳥の分布も調べることにしました。決まったコースを調査する繁殖期とは異なり、普段の観察記録を集め、分布図を描きます。ぜひ、みなさんの観察情報をお寄せください。

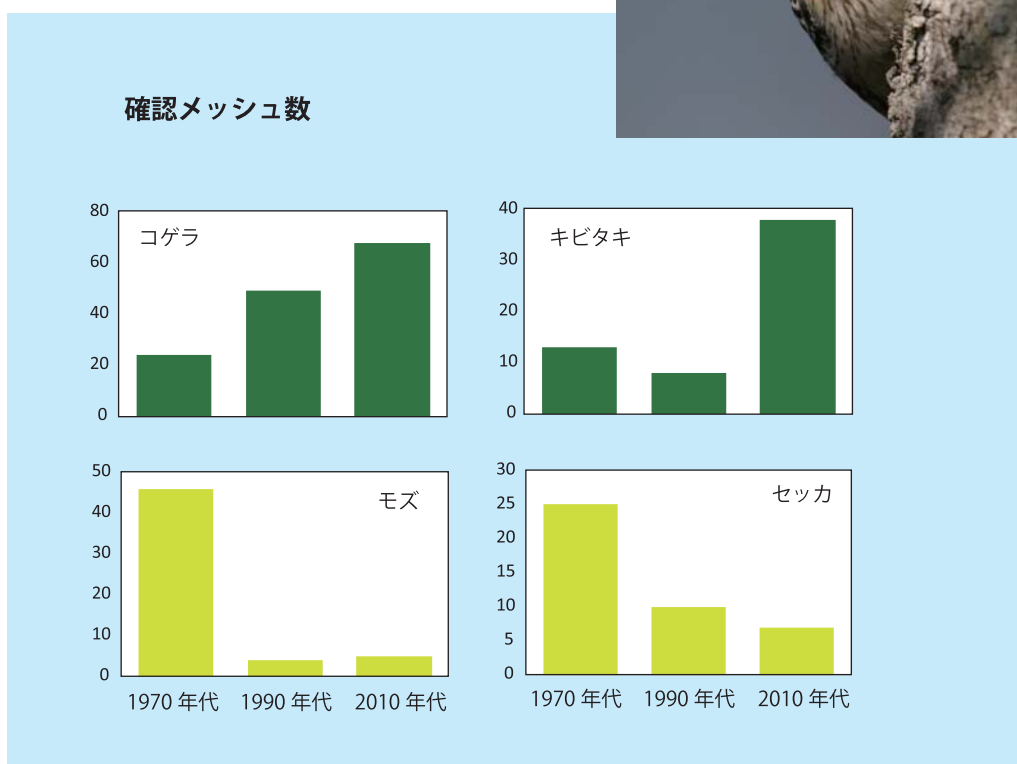
### 茨城県と東京都での詳細調査

20kmメッシュで描く全国調査より細かいスケールで分布を調べる調査が茨城県と東京都で始まりました。茨城では水戸周辺を1kmメッシュで、全県を5kmメッシュで調べ、東京は全域を1kmメッシュで調べます。東京と水戸との比較では、同じような環境でも

コゲラ (藤井薫)

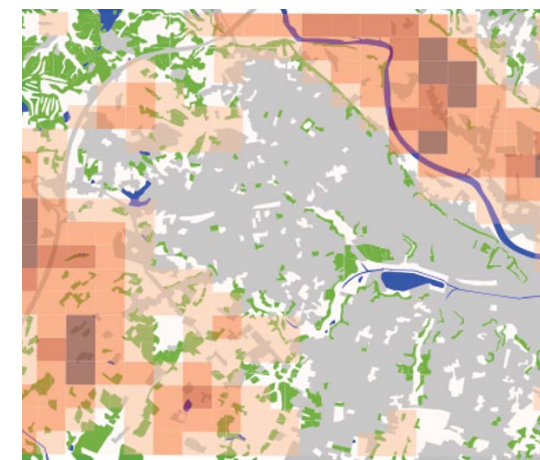


### Bird Atlas TOKYO



東京での森の鳥と草地の鳥の分布の変化。森の鳥は分布を拡げているのに対して、草地の鳥は縮小している。

東京ではより森の鳥がいて、茨城では草地の鳥がいるといった周囲の環境や過去からの土地利用の歴史が関係していると思われる違いが見えたり、過去の情報と比較すると東京では森の鳥が増えていて、草地の鳥が減少していることなどが見えてきています。



ヒバリ (水野桃)



詳細調査で描かれた水戸周辺のヒバリの分布図。濃いメッシュがヒバリの多いメッシュを示す。

## 調査に参加ください

### 参加者の声

滋賀での「全国鳥類繁殖分布調査」で、調査員登録のない調査地を日本野鳥の会滋賀が担当することになり、そのうちの3か所の調査に参加した。その中でも特に2か所目は、いろんな意味でとても印象深かった調査地だった。調査開始からすぐに道らしき道はなくなり、あるのは斜面にうっすらと残る筋のような道だけ。そんな過酷なルートを抜けると、景色は一変して河原になった。そこで一か所目の定点観察をした。ごろごろした大きな岩に座っていると、不意に両脇の林の中からアカショウビンの声をした。縄張り争いの真っ最中なのか、鳴き交わしている。常々アカショウビンの声は宇宙空間を表すときの効果音に似ていると思っていたが、それが左右から聞こえると、そこはもう異空間だった。こんなご褒美が待っているなんて。同行した人たちには言わなかったが、いつクマに出くわすかと怖くて仕方なかったのだけど、こんな風にアカショウビンに出会えるなら、20年後、また来てもいいかも。

(大橋マミ子：日本野鳥の会滋賀)

### 調査への参加方法

調査担当者が決まっていないコースがたくさんあります。また、現地調査を補うアンケート調査もあります。調査に参加いただける方は、全国鳥類繁殖分布調査ホームページの「参加者登録」のページからお申し込みください。  
<https://db3.bird-research.jp/~birdatlas/volunteer.html>





調査協力者のみなさん：マリアノ・クルス、阿河真人、阿部若葉、阿部峻大、阿部仁美、阿部誠一、阿部智、阿部慎太郎、安増直美、安田耕治、安田佐登子、安島博、安藤温子、安藤都、伊関文隆、伊坂、伊石昌弘、伊藤綾子、伊藤恭博、伊藤浩志、伊藤滋、伊藤信明、伊藤晴康、伊藤多美子、衣川直美、井ノ口博司、井奥恵三、井坂宏、井山明、井山有三、井手口和満、井上遠、井上健三郎、井上賢三郎、井上宗士、井上勝巳、井上太志、井上拓海、井田義裕、井田明人、井灘志げ子、磯海弘子、磯貝和秀、磯崎進、磯部浩、稲垣章子、稲熊、稲田菊雄、稲田浩三、稲葉一将、宇井文代、宇野竜司、白田正、浦野秀幸、瓜生篤、影山秀雄、永井、永井壯茂、永井光輝、永山孝明、永田千恵子、益子芳江、越後弘、越川重治、園村茂夫、園田正吉、園田美保子、遠藤瞳、遠藤美浩、塩月絵梨香、塩嶋保二、奥村次夫、奥村由美子、奥村和男、奥津百合子、奥田純子、奥本健吾、奥野俊博、奥野美帆、横山美津子、横山陽子、横大路淳、岡嘉弘、岡憲司、岡崎一也、岡崎雅幸、岡山嘉宏、岡村拓輝、岡村和子、岡田愛、岡部恵子、岡部和比古、岡望、岡本健二、岡本寿信、岡本真帆、岡本侑、沖浩志、沖田絵麻、沖田公佳、沖優佳、荻原千恵美、荻野未來、下田昭、加賀、加藤ななえ、加藤益子、加藤暁子、加藤敬一、加藤幸洋、加藤晴弘、加藤貞和、加藤美奈子、加藤肇男、加藤律子、加藤俊彦、河上智也、河村和洋、河端正太郎、河地辰彦、河藤昌子、河内直子、河辺典子、河野久子、辻統美真子、会沢美奈子、海老原信一、皆吉悦夫、角田真穂、笠井誠吾、笠川多佳子、梶田あまね、葛西義夫、鎌田幸子、寒川汰太、関川律子、関高史、関根一広、関根一、館澤二、丸山健司、丸山隆、若切久、岩倉真未、岩代綾太、岩田悟、岩本富雄、岩澤光子、亀田ひとみ、菊地弘保、菊地傑久、菊池久保、菊田清子、菊島正彦、吉家保保美、吉原俊雄、吉原早苗、吉原努、吉川明宏、吉沢雅夫、吉田みつ子、吉田恵人、吉田宗史、吉田純、吉田良平、吉武蓮太郎、吉木務、吉野隆寛、久下直哉、久高将洋、久住勝司、久米、久保賢一、久保清司、久保廣晃、久野公啓、久留島昭彦、宮越和美、宮崎良久、宮田聡、宮本誠一郎、宮林泰彦、牛根奈々、牛山克巳、京谷和弘、橋元正彦、橋本清澄、橋本智明、橋本了次、橋本和司、橋本寛、玉田克巳、近藤健一郎、近藤梢馬、近藤慎一、近藤多美子、金子はる子、金子雅幸、金子博子、金沢正幸、金谷千賀子、金野よよい、金澤晋一、駒田峰子、櫛田一夫、堀田美紀、窪田一仁、熊崎詔之、熊代直生、熊谷佳二、熊谷久美子、熊谷佐枝子、熊田那央、隈部修、栗林美知子、桑原和寿、森森亮、桑田和典、刑部節、犬丸瑞枝、元吉司、原、原口研治、原星一、原靖之、古館和幸、古山隆、古川紀美子、古川賢一、古谷孝、古木勇、戸川信吾、五十嵐悟、五十嵐千穂、五百藏聡、五百藏由美子、後藤淳、後藤博子、後藤由香、後藤洋枝、御手洗望、工義尚、工藤文江、工藤芳郎、工藤和彦、広永輝彦、広瀬弘一、広瀬美香、弘津聖也、江口初男、江川浩之、溝口文男、甲村真理、荒井悦子、荒井浩、荒川洋一、荒井哲、香西宏明、高岡奏多、高岡祐也、高岡和弘、高橋ひろみ、高橋ゆう、高橋嘉明、高橋喜久雄、高橋輝男、高橋晃、高橋伸夫、高橋新一、高橋邦年、高橋満子、高橋遼、高橋令子、高津住史、高塚大、高田年宏、高田陽、高田令子、高文子、高木昌興、高木慎介、高木真、高野茂樹、高柳和江、高梨敏子、高澤綾子、黒水茂明、黒川康子、黒川章、黒沢信道、黒沢隆、黒沢令子、黒田弘章、黒田治男、黒澤正明、黒澤優子、今井光昌、今井創、今井博樹、今兼四郎、今村美由紀、今堀英明、今里順一郎、根岸隆一、根本幸子、佐久川望、佐々嘉子、佐々木均、佐々木高寛、佐々木秀信、佐々木潤、佐々木仁、佐々木朋子、佐々木務、佐塚野裕、佐竹一秀、佐藤、佐藤ひろみ、佐藤亜川花、佐藤一博、佐藤義則、佐藤健三、佐藤賢二、佐藤公生、佐藤幸子、佐藤司、佐藤七重、佐藤重穂、佐藤潤子、佐藤瑞奈、佐藤征男、佐藤正英、佐藤道子、

# 全国鳥類繁殖分布調査

## 日本の鳥の今を描こう

佐藤道代、佐藤武、佐藤彦、佐藤満、佐藤和人、佐藤和明、佐武好美、細江崇、細谷千鶴子、坂井三夫、坂野恭子、阪口佑太、榎原真之、笹原裕二、笹野義一、笹野聡美、三間久豊、三原学、三戸貞夫、三好安寿、三好康惠、三好康恵、三好邦範、三上かつら、三上修、三曾田明、三谷栄治、三谷明子、三木敏史、三輪晴英、三輪芳己、山口英芳、山口寛登、山口喜盛、山口孝、山口森吾、山口波子、山口洋、山口藍、山根和親、山崎康一朗、山崎孝一、山崎法子、山村英人、山地みのり、山中旅人、山田孝一、山田勝巳、山田清、山田洋治郎、山田耀美、山本、山本貴仁、山本紘司、山本拓実、山本芳夫、山本裕、山本裕美、山路公紀、山崎久美子、山崎歩、山崎法子、山崎悠一、姉崎悟、市原辰太郎、市川昭、志村英雄、糸嶺宏子、糸嶺篤人、寺本明広、篠原由紀子、篠崎雄彦、柴坂廣雄、柴田佳秀、柴田絵里、若林ちづる、若林ちづ子、若林秀雄、守屋照司、守屋年史、手井修三、手塚樹理、酒井義弘、酒井敬治、酒井浩二、酒井淳一、酒井泰和、酒井博子、酒本みどり、酒本輝夫、宗像晶子、秋山勉、舟山幸枝、住田代志也、十一正雄、十亀茂樹、重原美智子、重松圭三、重松尚紀、重松麻理子、重村勇作、祝原光雄、出口翔太、出口翔太、春田清美、小河内麻衣、小笠原久美子、小笠原宏晃、小関弥生、小宮山節夫、小駒洋子、小見山節夫、小高信彦、小山信行、小山卓郎、小山広規、小川加代、小川潔、小川次郎、小川直樹、小川直亮、小川洋子、小泉金次、小池一男、小池雅之、小池康司、小池重人、小池順子、小池正明、小池美香、小池美和、小池嘉弘、小島みずき、小島久佳、小嶋聡、小嶋明男、小峯昇、小堀脩男、小野島学、小柳恵、小柳守男、小柳優奈、小林、小林成光、小林正一、小林繁樹、小村茂樹、小澤建一、小澤秀勝、小柳守男、小柳静代、庄司俊明、松永聡美、松岡幸恵、松原一男、松村俊一、松村幸幸、松村茂生、松沢友紀、松田映子、松田久司、松田隆明、松島雄之、松尾昌祐、上沖正欣、上関正子、上山義之、上出貴士、上西庸雄、上村耕一郎、上村左知子、上谷川則男、上田恵介、上田健一、上野邦夫、城戸美智子、植松永至、植村慎吾、植田陸之、織田歩、新井実保子、新井真、新井美保子、新井裕二、森永光直、森航大、森山賀代子、森初恵、森田衣久美、森田尚、森田清次、森本嘉人、森茂晃、森由香、森真、深井宣男、真鍋直嗣、神吉務、神山和夫、神尾雄二、進士実穂、進士美穂、須田桂子、須藤キミ、須藤清子、水越文孝、水野歩、嵩畑晃、数沢淑子、杉浦、杉原隆子、杉山好子、杉本晏敏、菅原貴徳、菅原利喜男、菅原隆、菅谷勝芳、正木伸二郎、清家久好、清水伸彦、清水博之、清水敏弘、清水保子、清野信行、清野節子、西宇亮、西教生、西野正義、西澤彩香、青山輝久、青山夕貴子、青木一夫、青木秀武、青木則幸、青野悟、斉藤けい子、石戸谷芳子、石崎友紀子、石山義浩、石城孝弘、石川芳美、石川邦夫、石谷匠美、石塚始子、千村章彦、千代文也、千田典文、千葉晃、千葉晃、千葉舞、千葉裕、千葉夕佳、川村研也、川村芳治、川村靖、川沢祥三、川島賢治、川奈、川内桂子、川内博、浅川千佳夫、浅田晴男、浅野俊雄、浅野涼太、船橋功、船瀬茂信、組頭五十夫、倉山毅蔵、倉川典夫、早坂様名、村上賢治、村中政文、村田希日子、村田孝道、村田明美、大羽康利、大岩慶治、大岩憲治、大久保健治、大久保香苗、大森美寿男、大森茂男、大西永倫、大西五十二、大西順子、大西武、大石、大石淳平、大倉亨太、大村洋一、大沢八州男、大沢吉次、大谷園一、大塚郁恵、大塚啓子、大塚之稔、大塚豊、大塚祐二、大槻恒介、大槻浩、大島理恵、大嶋菜穂、大嶋奈穂、大内晴、大木繁夫、大門聖、大野古久美、大野真澄、大矢樹、大和瀬泰、大和政明、大嶽若緒、大澤八州男、鷹野綾、滝沢和彦、沢島武徳、谷岡仁、谷岡隆、谷口秀樹、谷本洋子、丹下浩、丹紫子、丹波、丹野輝英、探鳥会、智江、池永祐二、池尻明美、池田志穂、池田俊典、池田昇、池田昇平、池田朝美、池野進、竹下将明、竹丸勝朗、竹原文子、竹重龍一、竹中定雄、竹田憲正、竹田山原崇、竹内康作、竹浪了、中井節二、中原聡、中根敏雄、中根未來、中根由香里、中山正則、中山和也、中西、中西章、中川守、中川洋、中村敬子、中村幸子、中村剛、中村昌義、中村照男、中村仁、中村正男、中村多喜子、中村弥彦、中村洋子、中村陽子、中村和世、中田達哉、中島慶二、中島健志、中島浩之、中島直、中嶋順一、中南秀樹、中尾久人、中尾禎志、中北国人、中本聡、中本聡、中野隆一、中林光生、仲山洋一、仲真晶子、仲西康、仲村昇、仲田立、長沢新二、長谷川勝徳、長谷川博之、長谷川美貴子、長谷部真、長谷部和宏、長塚美代子、長田佳礼、長野康之、鳥居賀与、鳥居憲親、鳥飼久治、鳥田陽子、直井一希、直井清正、直井陽子、津久井克美、津山紗央莉、津村真由美、塚原和之、塚田京子、塚田啓一、塚本右源治、辻揚子、坪井信澄、坪井祐子、坪島遊、鶴谷暢子、貞國利夫、天野弘朗、田熊彩乃、田恵人、田原博、田原茂己、田口康大、田口浩行、田崎紀克、田川亨、田川順子、田中マ子子、田中弘、田中伸一、田中正一、田中美和子、田中勉、田中豊成、田中優、田中洋子、田中葉子、渡部通、渡辺、渡辺恵、渡辺健三、渡辺幸久、渡辺俊郎、渡辺進、渡辺誠、渡辺哲見、渡辺美郎、渡辺裕幸、渡邊宏之、渡邊麻里恵、渡邊修治、渡邊由佳、土井雅文、土井寛大、土屋若葉、土田芳昭、奴賀俊光、島崎崇、島崎廣広、島村香、島村直子、島田恵美、島田明英、島崎崇、嶋孝弘、嶋崎太郎、嶋田昌行、嶋田百合子、嶋田和明、東出芳廣、東常哲也、東島忠澄、東有子、東竜一郎、東良一、東條秀徳、湯浅健、藤井幹夫、藤井聖三、藤岡エリ子、藤巻啓二、藤巻裕蔵、藤間勇、藤原郁久、藤江昌代、藤江直行、藤川久美子、藤塚道秋、藤田君雄、藤田薫、藤島光俊、藤島牧子、藤波不二雄、藤本尚子、堂岸綾子、堂跡あやこ、徳田英雄、頓宮千穂子、頓宮理沙、南雲敏夫、南航平、日向治子、日高哲二、日比野晃祥、日比野政彦、入船憲一、如澤昌子、馬場木嘉久、馬田勝義、梅原進、榎田昭、萩野小夏、萩野正明、萩野谷典敬、柏崎安男、白井康夫、白水博、白石ひとみ、白石健一、白石泉、白川、白川郁栄、白川恵、白川美翠、粕谷和夫、畑中浩一、畑中朋子、八次雄一朗、八木岡忠、伴野正志、半田智子、板垣杉子、板谷浩男、飯室健、飯田直己、飯島大智、飯澤可奈江、比嘉雅彦、肥塚喜弘、肥塚澄江、飛鳥和弘、飛田やすひろ、飛田恵一、樋口香穂、樋口星路、尾形大智、尾崎邦彦、尾中深、百瀬浩、浜谷まり子、浜谷武雄、浜地歩、富川徹、富沢直浩、富田悦子、富永准子、富永誠、富川潤、富田恭司、布川耕市、武原仁美、武田由紀子、武田、武田真澄美、武田隆治、武内秀仁、武内順子、風間健太郎、風間麻未、服部利也、福井強志、福井巨、福岡美加、福原瑞生、福田佳弘、福田光男、福田伸一、福田和夫、福本幸夫、福本明美、平井正志、平山恵子、平山太刀也、平山久美子、平出恒夫、平城常雄、平泉秀穂、平田正嗣、平田豊治、平野賢次、平野智江、平野敏明、米山富和、米田佑哉、片岡真智子、片桐和樹、片山一、片山繁子、片山芳伸、宝田延彦、峯光一、芳賀敏博、豊田敬則、望月英夫、望月通人、北村亘、北本和子、北野直希、牧野田節子、堀田昌伸、堀本徹、堀本富宏、本多孝成、本多里奈、本田行男、本田敏夫、麻島江美子、末永やすこ、末永靖子、末崎朗、満田實、實輪貴一、湊重成、名執修二、明日香治彦、鳴海真澄、綿引清雄、網谷由美子、木下徹、木下芳春、木子雅水、木村、木村孝志、木谷重信、木谷由美子、門口一雄、門前孝也、門脇進、野口直樹、野上佳子、野村出、野村正史、野村由紀子、矢口功、矢吹正、矢田新平、矢島早苗、矢部周蔵、矢本賢、柳町邦光、柳田弘子、柳田秀雄、柳田和美、藪内喜人、油田克也、友澤圭介、有馬宏幸、有澤達博、涌島英之、涌島洋子、葉山雅広、葉山久世、葉山政治、頼ウメ子、落合はるな、藍沢司、陰陽子、両角英晴、林啓子、林孝、林航、林真平、林克之、林直樹、林奈津美、鈴川文夫、鈴木ゆう、鈴木健司、鈴木宏芳、鈴木三郎、鈴木彰、鈴木伸子、鈴木正文、鈴木千代子、鈴木直孝、鈴木美智代、鈴木明子、和泉和子、和沢淑子、和田千代、脇坂英弥、齋沢澄雄、鷺田善幸、鷺田春美、國永知裕、國友靖彦、廣川茜、揉井千代子、加場ゆかり、梵珠ふれあいセンター、榮川政彦、榮村奈緒子、櫻井恵子、櫻井俊司、澤田宗一郎、濱田哲哉、濱優衣、齋藤京子、齋藤修、齋藤純子、齋藤信、齋藤統、齋藤敏郎、齋藤武馬、齋藤力、笹部達也、築川堅治、齊藤京子、齊木孝、高井正明、高橋伸夫、表紙写真：アトリ／畔上正一、ヤマセシ／中林光生 編集：ハードリサーチ デザイン：重原美智子

bird-atlas.jp